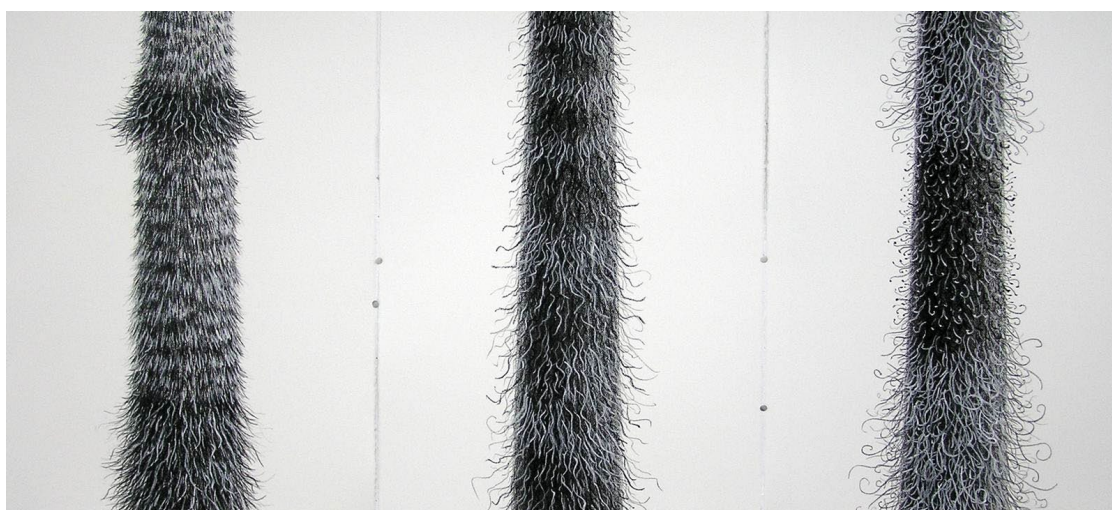


Celebrating Sustainability and Creativity

- 観光研究における創造的な研究方法論 -

Lorraine Biggs & Kate Campbell-Pope

9:30-12:20, 7 Nov, 2025 (Room E1-102)



(Lorraine Biggs)

本ワークショップでは、2人のゲストアーティストに地域の自然、環境をテーマとする作品を紹介いただき、「探究手法としてのクリエイティビティ」について考えます。言語は英語ですが、通訳も入りますので、気軽にご参加ください。

In this workshop, two artists will introduce their works on nature and environmental issues and discuss “creative methodology in research”. The workshop will be conducted in English but there will be interpretation, so come and join us!

Presenters



Lorraine Biggs (オーストラリア・タスマニア州) 絵画とドローイングがロレインの作品の中心ですが、彫刻、写真、デザインプロジェクトにも取り組んでいます。国内外で広く展示され、多くのコレクションに収蔵されている彼女の主な関心は自然界にあり、詳細な作品を通じて多様な生態系を探索しています。プロジェクトベースの作品は、2、3年かかることもあり、森林、海岸、天候などをテーマに現場を訪れて研究を重ねることが多い。タスマニア州の公共建築のためのアートプロジェクトなど多様なプロジェクトを委託されている。他の分野、ミュージシャンやライターとのコラボレーションも多数。

<https://www.lorrainebiggs.com>



Kate Campbell-Pope スタジオ作品、コミュニティアート、パブリックアート、教育、キュレーション、メンタリングなど、幅広い活動を行うビジュアルアーティストであり、国内外で数多くの作品を発表している。地域固有の植物、天然繊維やテキスタイルを用いた作品は、構造的かつ装飾的なステッチ、バスケットの技法、ランダムな織り方を採用し、彫刻的な性質を持つ。素材と意味の関係にも注目し、その作品は自然環境と人間の居場所について考察するものが多い。

<https://artonthemove.art/2025/07/artist-profile-kate-campbell-pope/>

お問合せ：観光学部研究推進委員会

加藤久美 kumikato@wakayama-u.ac.jp

アダム・ドーリング adoering@wakayama-u.ac.jp



International
Tourism

